

予定前倒し、10月中にすべての不通区間解消へ

豪雨不通区間の貨物列車、倉敷・伯耆大山であす再開

Edited By LogisticsToday On 2018/07/31

日本貨物鉄道（JR貨物）は7月31日、「平成30年7月豪雨」の影響で不通となっている区間のうち、倉敷駅（岡山県）・伯耆大山駅（鳥取県）間（138.4キロ）で8月1日に貨物列車の運転を再開すると発表した。

JR西日本、JR四国による運転再開見込みの発表を受けたもので、ほかの不通区間でも、これまでの運転再開予定を前倒しする。これにより、豪雨の影響による貨物列車の運転は10月中にもすべて再開される見通しとなった。

東福山駅（広島県）・広島貨物ターミナル駅間（105.6キロ）は、これまで11月中としていたが10月中へ、広島貨物ターミナル駅・新南陽駅（山口県）間（115.9キロ）は9月末から9月中へ、宇多津駅（香川県）・松山駅（愛媛県）間（168.5キロ）は8月中旬から8月9日へ、それぞれ再開の見込みを変更する。

Article printed from Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト : <http://www.logi-today.com>

URL to article : <http://www.logi-today.com/322329>

Copyright © 2019 Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト. All rights reserved.